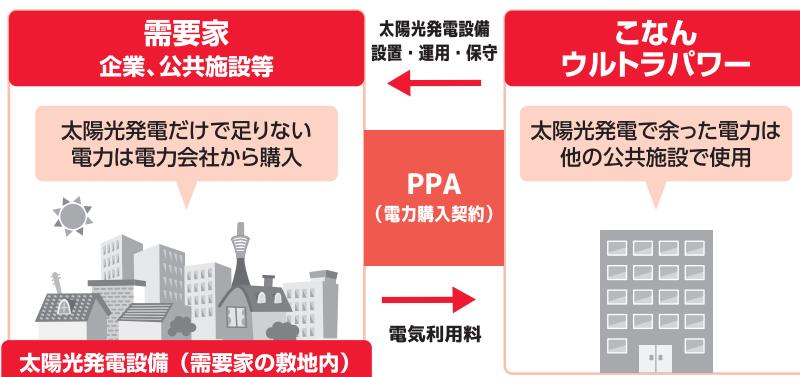


自然エネルギーで地域を元気に!

こなんウルトラパワーは湖南市と湖南市商工会、市内民間企業が中心となって平成28年5月に設立した地域に根差した電力会社です。



市内事業所の皆さんへ

こなんウルトラパワーでは、国が発表している「地域脱炭素ロードマップ」で重点対策として掲げている自家消費型太陽光発電設備の導入を促進すべく、PPA事業のご提案をしています。
基本的に初期投資はゼロで、電気料金とCO₂排出の削減等が期待できます。ぜひ相談ください。



こなんウルトラパワー
KONAN ULTRA-POWER CO., LTD.



<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは
☎0800・800・5084
午前9時～午後6時(土曜・日曜日・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 4月の発電結果

初号機 発電量: 2,529 kWh
パンパン発電所 設備容量 20.8kW
売電額: 111,276 円

一般家庭 約 9軒分

式号機 発電量: 10,532 kWh
甲陸発電所 設備容量 105.6kW
売電額: 463,408 円

一般家庭 約 35軒分

参号機 発電量: 1,851 kWh
十二坊温泉 ゆらら発電所 設備容量 16.3kW
売電額: 65,155 円

一般家庭 約 6軒分

四号機 発電量: 2,551 kWh
柑子袋まちづくり センター発電所 設備容量 23.6kW
売電額: 89,795 円

一般家庭 約 9軒分

※ 1軒あたり月間電力使用量=300kWh で換算



すすめ!
みんなの SDGs



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

湖南市は持続可能な開発目標(SDGs)の達成をめざしています。

みんなの安心を支える医療保険

日本の健康保険制度は「国民皆保険」であり、すべての人がなんらかの公的医療保険に加入し、病気や事故にあったときの高額な医療費負担をみんなで支え合って軽減するようになっています。

近年、高齢化の進行や医療の高度化に伴って医療費が増え、公的医療保険の財政状況が厳しくなっています。しかしながら、医療費を抑えるために医療の質を落とすというわけにはいきません。

そこで、公的医療保険を運営している保険者は、医療費の増加を抑えるためのさまざまな取組を行っています。ジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及・使用促進もその取組のひとつです。一般的にジェネリック医薬品は、先発医薬品と同等の有効性・安全性がありながら、

研究開発に要する費用が低く抑えられるため、薬価が安くなっている薬です。

ジェネリック医薬品の普及が進むと、医療の質を落とすことなく患者さんと保険者両方の負担軽減が期待できることから、重点的に取り組むべきであると位置付けられています。病院で薬を処方されたときにはジェネリック医薬品に切り替えられないか考えてみてくださいね。

●すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではなく、また、医師の判断によりジェネリック医薬品が処方されない場合もあります。薬の切り替えを検討される場合は主治医や薬剤師に十分相談してください。

問保険年金課【東庁舎】 ☎71・2324 ☎72・2460